広報

滋賀県身協

令和元年10月1日

126

30周年記念特別号

平成31年4月1日から滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例が施行されました

12月3日～9日は障害者週間です

「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」が施行されました、
障害者週間啓発・推進事業 …… 2
第69回滋賀県身体障害者福祉大会　他 …… 3
滋賀県身体障害者相談員研修（共生社会づくり条例フォーラム）、
青壮年部地域交流会、夏まつり模擬店出店、
青壮年部研修交流会…… 4
わが地域の「がんばり日記」、各地域・団体の活動報告　他…… 5
各種お知らせ　等…… 6
財団設立・センター開設30周年記念コーナー　……7～11
障害者福祉センターコーナー…… 12～15
クイズコーナー・編集後記 …… 16

滋賀県立障害者福祉センターのご案内

個人利用時間　午前9時30分～正午・午後1時～4時30分・午後5時30分～8時30分
団体貸切利用時間　午前9時30分～午後8時30分
休　所　日　月曜日（休日を除く）・「休日」の翌日（土曜日・日曜日または「休日」である場合を除く）・12月29日～翌年1月3日・管理者の指定日時
電話　077-564-7327　　ＦＡＸ　077-564-7641
E-mail:webmaster@shiga-fukushi-center.com
http://www.shiga-fukushi-center.com/

～開設30周年記念 第29回夏まつり～　令和元年7月21日 県立障害者福祉センターにて

協会からのお知らせ・報告

「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」が制定されました　（H.31.4.1　一部施行／10.1全部施行）

【条例のポイント】

1.「障害の社会モデル」の考え方を定義します。

「障害の社会モデル」とは、障害のある人が日常生活または社会生活において受ける制限は、障害のみに起因するものではなく、社会的障壁と相対することによって生ずるものという考え方です。

2. 合理的配慮の提供等を義務化します。（令和元年10月～）

障害者差別解消法において、民間事業者の「合理的配慮の提供」は努力義務ですが、条例では差別解消の取組を一層進めるため、義務としました。また、法律では対象外の個人に対しても「差別の禁止」および「合理的配慮の提供」を義務としました。

	差別の禁止	合理的配慮の提供
行政機関	法律上の義務	法律上の義務
民間事業者	法律上の義務	条例上の義務
個人	条例上の義務	条例上の義務

3. 相談・解決の仕組みを整備します。（令和元年10月～）

障害を理由とする差別に関する相談を受け付ける「障害者差別解消相談員」と障害のある方の代弁者となる「地域アドボケーター」を設置します。また、相談では解決しない事案については、新たに「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり委員会」を設け、あっせん・勧告・公表を行うことができる仕組みを整備します。

相　談 → あっせん申立 → 勧告・公表

【お問い合わせ】
滋賀県健康医療福祉部障害福祉課共生推進係
〒520-8577　滋賀県大津市京町四丁目1-1
TEL 077-528-3540/FAX 077-528-4853
E-mail ec0006@pref.shiga.lg.jp

障害者週間啓発・推進事業の実施　お知らせ

「障害者週間」および「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」を周知するため、下表のとおりＪＲ等主要駅や大型商業施設等において啓発活動を実施します。

また、イオンモール草津の啓発イベントでは、障害者団体のＰＲ活動の他、障害者理解を深めるための体験を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

①【啓発イベント】
日時：12月８日(日) 11：00～15：00　　場所：イオンモール草津 レストランコート
内容：・県イメージキャラクターとともにポケットティッシュの配布とのぼり旗による啓発
・滋賀県障害者社会参加推進協議会各構成団体のＰＲ、各種体験コーナー　等

②【街頭啓発】
内容：ポケットティッシュの配布とのぼり旗による啓発。

【街頭啓発実施日時・場所一覧(予定)】

地域	実施場所	実施期日	実施時間
大津市	アル・プラザ堅田	12月 1日(日)	10:00～12:00
	フォレオ大津一里山	12月 1日(日)	10:00～12:00
彦根市 愛知・犬上	フレンドマート稲枝店	12月 1日(日)	11:00～12:00
	平和堂日夏店	12月 1日(日)	11:00～12:00
	パリヤサンペデック	12月 1日(日)	11:00～12:00
	ビバシティ彦根	12月 1日(日)	11:30～12:30
長浜市	イオン長浜店	11月 2日(土)	9:00～12:00
近江八幡市	JR近江八幡駅(北口・南口)	11月29日(金)	13:00～14:00
	近江八幡市役所前	11月29日(金)	13:00～14:00
	フレンドマート安土店	11月29日(金)	13:00～14:00
草津市	JR草津駅(西口・東口)	11月29日(金)	10:00～11:00
	JR南草津駅(西口・東口)	11月29日(金)	10:00～11:00
守山市	モリーブ	12月 1日(日)	10:00～12:00
高島市	平和堂あどがわ店	11月29日(金)	11:00～12:00
	平和堂今津店	11月29日(金)	11:00～12:00
栗東市	JR栗東駅(西口・東口)	12月 1日(日)	16:00～18:00
	アル・プラザ栗東	12月 1日(日)	16:00～18:00
湖南市	平和堂石部店	12月 1日(日)	9:30～12:00
	平和堂甲西中央店	12月 1日(日)	9:30～12:00
	平和堂甲西店	12月 1日(日)	9:30～12:00
甲賀市	JR貴生川駅(北口・南口)	11月29日(金)	6:50～ 7:50
	信楽高原鐵道信楽駅	11月29日(金)	7:00～ 8:00
	西友水口店	11月29日(金)	16:00～17:00
東近江市	JR能登川駅(西口・東口)	11月29日(金)	7:00～ 8:00
	西友八日市店	11月29日(金)	16:00～17:00
米原市	JR米原駅(西口・東口)	11月30日(土)	8:30～ 9:00
湖東	フレンドマート日野店	12月 1日(日)	10:00～12:00

第69回滋賀県身体障害者福祉大会の開催

お知らせ

第69回滋賀県身体障害者福祉大会を近江八幡市において開催します。今年は、式典、議事、講演の後にアトラクションとして琵琶説教師による説教やあづち信長出陣太鼓・吉報師太鼓による演奏を予定しています。

各市町の更(厚)生会等で参加者を取りまとめていますので、皆様のご参加をお待ちしております。

日　時：10月6日(日)　10：00開会
場　所：滋賀県立男女共同参画センター　大ホール
主　催：(公財)滋賀県身体障害者福祉協会
　　第69回滋賀県身体障害者福祉大会
　　実行委員会
後　援：滋賀県・近江八幡市・東近江市・日野町・竜王町
　　(福)滋賀県社会福祉協議会
　　(福)近江八幡市社会福祉協議会
　　(福)東近江市社会福祉協議会
　　(福)日野町社会福祉協議会
　　(福)竜王町社会福祉協議会
運　営：第69回滋賀県身体障害者福祉大会
　　実行委員会
日　程：式　典
　　＊滋賀県知事表彰授賞式
　　＊(公財)滋賀県身体障害者福祉協会
　　会長表彰授賞式
　　議　事
　　＊大会宣言(案)提案、大会決議(案)提案
　　講演
　　＊「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例について」
　　アトラクション
　　＊琵琶説教師による説教
　　＊あづち信長出陣太鼓・吉報師太鼓による演奏

第39回日身連近畿ブロック福祉大会
第21回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会

報　告

今年度は、大阪府堺市で開催され、滋賀県からは役員や身体障害者相談員等合わせて約35人が参加する予定です。

当日の様子については、次号(第127号)で報告いたします。

日　時：11月18日(月)　11：00～15：00
場　所：国際障害者交流センター「ビッグ・アイ」
主　催：(福)日本身体障害者団体連合会近畿ブロック連絡協議会
主　管：(一社)大阪市身体障害者団体連合会
日　程：式典、議事、講演等

公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会
役員の変更について

お知らせ

(公財)滋賀県身体障害者福祉協会第２期評議員ならびに第４期理事、第２期監事について、次のとおり役員の変更があり、ご就任いただきましたので、お知らせいたします。

○就任日：平成31年３月23日　(敬称略)

役　職	氏　名	地　域　・　団　体　名
評議員	熊田　寿貴	(一社)滋賀県ろうあ協会

○就任日：令和元年６月21日　(敬称略)

役　職	氏　名	地　域　・　団　体　名
評議員	三田　俊雄	長　浜
	前野　　奨	(特非)滋賀県脊髄損傷者協会
理　事	乾澤　正和	大　津
	増田　定雄	甲　賀
監　事	青木　隆三	(一社)滋賀県腎臓病患者福祉協会

事務局日誌

令和元年７月～９月

月　　日	会議・行事内容
7月 7日(日)	第3回青壮年部役員会
7月15日(月・祝)	滋賀県身体障害者相談員研修会(県南部)
7月21日(日)	滋賀県立障害者福祉センター開設30周年記念 第29回夏まつり
7月26日(金)	日身連近畿ブロック連絡協議会団体長・事務局長会議
7月27日(土)	会長表彰審査会
	第3回三役会
7月28日(日)	滋賀県身体障害者相談員研修会(県北部)

月　　日	会議・行事内容
8月 2日(金)	第69回滋賀県身体障害者福祉大会第2回実行委員会
8月10日(土)	第2回理事会
8月11日(日)	第4回青壮年部役員会
8月24日(土)	開設30周年記念第29回夏まつり第4回実行委員会
8月29日(木)	第2回滋賀県障害者社会参加推進協議会
9月 1日(日)	青壮年部研修交流会
9月 6日(金)	第69回滋賀県身体障害者福祉大会実行委員会
9月20日(金)	地域等組織活性化審査会 30周年記念感謝状審査会

滋賀県身体障害者相談員研修会（共生社会づくり条例フォーラム）

報告

本年度は、7月15日（月・祝）に県庁新館（県南部地域）で、7月28日（日）に県立男女共同参画センター（県北部地域）で開催された滋賀県主催の「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例フォーラム」を相談員の研修の場としたところ、両会場合わせて相談員87人を含む280人の参加がありました。

県南部では（特非）ＤＰＩ日本会議副議長の尾上浩二氏が、県北部では（特非）おおさか地域生活支援ネットワーク理事長の北野誠一氏がそれぞれ、『滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例と「障害の社会モデル」について』と題し、本年４月１日に施行された滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例の概要や合理的配慮についての説明と、障害の社会モデルについて話をしていただきました。また、後段は、尾上氏の他に平成27年度糸賀一雄記念未来賞を受賞された「チームかなこ」の北村佳那子氏と山崎秀子氏を加えたシンポジウム「共に学び、共に生きる」が県南部で行われ、県北部では『「触常者」という生き方～無視覚流ライフを楽しむ～』と題して、国立民族学博物館准教授の広瀬浩二郎氏による講演が行われました。

青壮年部地域交流会

報告

５月25日（土）に水口社会福祉センターにおいて「青壮年部地域交流会（甲賀市・湖南市）」を開催したところ、関係者を含めて42人の参加がありました。はじめに当青壮年部、甲賀市身体障害者更生会、湖南市身体障害者更生会それぞれの活動紹介を行い、続いてパラリンピックの正式種目である「ボッチャ」の体験交流会を行いました。初めてボッチャを体験する方が多く、興味津々な様子で道具やルールの説明を聞かれた後、レクリエーションやミニゲームを通してボッチャを楽しんでいただくことができました。参加者からは、「下肢が悪くても、楽しんでできた。」「時間を忘れて楽しむことができた。」といった感想をいただきました。

夏まつり模擬店出店報告

報告

当青壮年部では、県立障害者福祉センターで７月21日（日）に開催された開設30周年記念第29回夏まつりに模擬店を出店しました。過去にはフランクフルトやカレーライスなどを販売してきましたが、今年は、青壮年部役員と協力をいただいた方々１２人が一丸となり、助六寿司やかき氷、駄菓子の詰め合わせ等を販売したところ、多くの方々にご来店いただき、完売することができました。ご購入いただいた皆様、また、ご協力いただいた皆様ありがとうございました。今後もより多くの方に当青壮年部の活動を知っていただけるよう、各種事業等の実施や模擬店出店等に積極的に取り組んでまいります。引き続き、皆様のご参加、ご協力をいただきますようお願いします。

青壮年部研修交流会「～仲間と共に～出会い!チェンジ!Challenge!」報告

報告

９月１日（日）に草津市立市民交流プラザにおいて「青壮年部研修交流会」を開催したところ、関係者を含めて２６人の参加がありました。講演には、オフィスゆうき代表の中川佑希氏を講師にお招きし、「多くの出会い～社会も変わる自分も変わる」と題して、自身の実体験を通して、人と出会うことの必要性や「自立」に対する考え方が変わったこと等を楽しくお話しいただきました。

講演後は中川氏を交えて交流会（グループワーク）を行い、人との出会いを通して社会や自分が変わったと感じていること、これから変わってほしい、変わりたいと思っていること等について意見交換をしました。参加者からは、「わかりやすく、今後の参考になる講演内容でした。」「いろんな人と交流ができて良かったです。」といった感想をいただきました。

わが地域の「がんばり日記」

日帰り研修旅行について

甲賀市身体障害者更生会

当更生会では、今年度もたくさんの事業を計画しております。今回は６月に実施しました「ふれあい一日旅行」について紹介します。

旅行当日は、朝から晴天に恵まれた絶好の旅行日和となり、市内各地から116名が参加しました。参加者は各集合場所でバス３台に分乗しながら土山ＳＡへ向かい、ＳＡで集合された参加者が乗車したあとは、目的地である南知多ビーチランドへ向かいました。

南知多ビーチランドでは様々な魚やアザラシ、ペンギンなどが鑑賞でき、イルカショーなどのイベントも開催されていました。参加者は迫力のあるイルカショーや多くの海の生き物たちを鑑賞しながら楽しまれていました。また、水槽をバックにしたハート型のフォトスポットは参加者に大人気で、歓声を上げながら、ツーショット写真を撮影されていました。

その後、ホテルで豪華な昼食会となり、会員同士和気あいあいとした時間を過ごしました。後半はカラオケ大会を開催し、ステージ上で自慢の歌声を披露するなど、参加者一同、心ゆくまで楽しんでいただけた一日となりました。

９月７日(土)地域ボッチャ教室について

高島市身体障害者更生会

11月23日(土)に、県立障害者福祉センターが開設30周年、(公財)滋賀県身体障害者福祉協会が財団設立30周年を迎えることを記念して「開設30周年記念地域対抗ボッチャ交流大会」が開催されます。高島地域でもボッチャのルール等について勉強するため、ボッチャ教室を開催したところ、10人の参加がありました。教室では、福祉センターの職員２人にルールや大会の流れ等について指導いただきました。

参加者の中には、初めてボッチャを体験する方もおり、道具やルールの説明を真剣に聞いておられました。説明後、ゲームを何度か行いましたが、何も考えずに投げるのではなく、様々な戦術を駆使しながらボールを投げる必要があることを知りました。回数を重ねるごとに、参加者同士の声かけや拍手を送る姿が見られ、交流を図りながらボッチャを楽しまれていました。参加者からは「夢中になれて楽しい。」「狙ったところに転がすのが難しかった。」といった感想をいただくことができ、充実した教室を開催することができました。

各地域・団体の活動報告

令和元年8月～9月

月　日	主　催	会議・行事内容
8月25日(日)	滋賀県脊髄損傷者協会	第29回近畿車椅子ツインバスケットボールびわこ大会
9月 7日(土)	高島市身体障害者更生会	地域ボッチャ教室
9月10日(火)	大津市身体障害者更生会	地域ボッチャ教室
9月15日(日)	大津市身体障害者更生会	地域ボッチャ教室
9月20日(金)	甲賀市身体障害者更生会　湖南市身体障害者更生会	地域ボッチャ教室
9月22日(日)	滋賀県腎臓病患者福祉協会	県腎協第51回理事会人権学習会
9月24日(火)	大津市身体障害者更生会	地域ボッチャ教室

会員を募集しています!!

「一緒に楽しみ、笑い、出掛けよう!!」

☆滋賀県内の各市町の障害者団体（身体障害者更(厚)生会等）では、新規会員を募集しています。お住まいの市町の会員になって、身近な地域で一緒にスポーツやレクリエーションを楽しみましょう。
連絡先は、当協会事務局までお問い合わせください。

公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会
〒525-0072　草津市笠山八丁目５番130号
電話:077-565-4832　FAX:077-564-7641
E-mail:info@kenshinkyo-shiga.com

ジパング倶楽部特別会員制度年会費改定のお知らせについて

消費税率改定に伴い、2019年10月１日(火)より年会費が次のとおり改訂されました。
なお、ジパング倶楽部のサービス内容についての変更はありません。

	改定前(2019年9月末日まで)	改定後(2019年10月1日から)
新規・更新 一般切替・期限切れ	1,350円	1,400円
紛失再発行	620円	630円

①会員の特典
◆ＪＲ線を「片道、往復、連続」のいずれかで201km以上利用する場合に使えます。身体障害者手帳により購入できる普通乗車券以外の一定の特急券・急行券・グリーン券・座席指定券が割引購入できます。

②割引できない場合
◆新幹線「のぞみ」、「みずほ」の特急料金・グリーン料金（自由席を含む）
◆寝台料金、在来線のグリーン個室料金
◆２人用個室寝台の特急料金
◆グランクラス料金
◆トクトク切符などすでに割引になっている切符類など

③割引できない期間
◆４月27日～５月６日
◆８月11日～８月20日
◆12月28日～１月６日

④加入資格
◆身体障害者手帳の交付を受けている方で、男性は満60歳以上、女性は満55歳以上の方が対象となります。(第一種身体障害者の介護者のみ同様の割引が受けられます。)

⑤入会・更新手続き
◆更新手続きは、有効期限月の前月からとなります。
◆入会、更新手続きは、当協会までご連絡ください。

心身障害者扶養共済制度のご案内

障害のある方を扶養している保護者が自らの生存中に毎月一定の掛金を納めることにより、保護者に万一(死亡・重度障害)のことがあったとき、障害のある方に終身一定額の年金を支給する制度です。なお、加入には要件があります。

お問い合わせ・申込みについては、(公財)滋賀県身体障害者福祉協会までご連絡ください。

申込み・問い合わせ先

(公財)滋賀県身体障害者福祉協会

〒525-0072　草津市笠山八丁目5-130

TEL：077ー565ー4832

FAX：077ー564ー7641

E-mail：info@kenshinkyo-shiga.com

nakaspo
株)中山スポーツ
〒520-0863
滋賀県大津市千町1 丁目25－25
電話077－534－2525
FAX077－533－2338
http://www.nakaspo.com

TOYOTA Rent a Car
ウェルキャブ レンタカー
（福祉車両）

ダイハツ タント スローパー
基本料金 6時間まで　5,000円(非課税)
ルーミー助手席リフトアップ
基本料金 6時間まで　5,500円(非課税)
※ ご利用時期によってはハイシーズン料金となります。
0800-7000-111　0800-7000-294
株式会社トヨタレンタリース滋賀
0120-101-345
ホームページ
http://www.trl-shiga.jp/

広　告　大募集

当協会では、広報「滋賀県身協」にて広告枠を設けております。

広報「滋賀県身協」は、県内図書館や公民館、各市町障害福祉主管課および社会福祉協議会、福祉関係団体などに配布しており、毎号8,500部を発行しています。

県内の障害のある方を中心に、多くの方にお読みいただいている広報「滋賀県身協」に広告を載せてみませんか？詳しくは、下記へお問い合わせください。

お問合せ先　TEL：077-565-4832　FAX：077-564-7641　Email：info@kenshinkyo-shiga.com

30th 財団設立・センター開設 30周年記念コーナー

ご　挨　拶

公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会
会　長　**中　村　裕　次**

当協会は、平成2年に「障害者が生きがいを感じ快適な生活を送れる社会の実現を」を掲げ、財団法人として設立され、障害者の社会参加の拠点として建設された滋賀県立障害者福祉センターの運営を受託し、今年で30年が経ちます。この間、当協会では県内の各市町身体障害者更(厚)生会等の皆様や関係の皆様のご協力により、身体障害者福祉大会や駅舎等のバリアフリー要望活動など様々な活動を行ってまいりました。これも偏に皆様のご協力の賜物であり、心より御礼申し上げます。

この30年間、障害者を取り巻く環境は、ハード面でのバリアフリー化やソフト面での障害者理解が進められるなど大きく変化し、平成26年1月には障害者権利条約が批准されました。その後、「障害者差別解消法」をはじめとする障害者施策に関する法整備が進められ、本年4月には、「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」が施行され、障害の有無にかかわらず誰もが安心して暮らせる共生社会づくりへの取組みが進められています。共生社会の実現は、すべての障害者の願いであり、当協会が背負う責務は大きく、今まで歩んできた30年以上に障害者がいきいきと活躍できる社会を目指し取組んで参る所存です。今後も、県立障害者福祉センターともども皆様のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

滋賀県立障害者福祉センター
所　長　**竹　内　恵　子**

「滋賀県立障害者福祉センター」は、心身障害者の福祉の増進を図ることを目的に平成2年8月にオープンし、今年で30周年を迎えます。開設以来、大変多くの皆様にご利用いただき、また、センターの事業の運営にあたっては、ボランティアの皆様をはじめ関係機関の多くの方にご支援とご協力を賜り、心より深く御礼申し上げます。

当センターは、県内の障害者が安心して安全に利用できる施設として「利用者一人ひとりに寄り添い、ともに成長するセンター」を目指し、障害の有無にかかわらず一緒に楽しめる「夏まつり」などの行事や運動能力向上のための「水泳教室」をはじめとするスポーツ、文化教室、機能維持を目的とした「リハビリ教室」等障害者が社会参加するための各種事業に取組んで参りました。

この30年間で当初年間3万人余りであった利用者数は、昨年約8万6千人となりました。利用の皆様の笑顔や励ましの声に後押しをいただきながら、これからも多くの方に愛され、安全に安心してご利用でき、多くの障害者の皆様の拠であるよう、職員一同気を引き締めセンター運営に取り組んで参りたいと存じますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

財団設立・県立障害者福祉センター開設30周年記念式典

当協会の財団設立と当センター開設30周年を記念して、次のとおり式典を行います。

今までの取り組みを顧み、これからの障害者福祉を考える機会として、次の内容で執り行います。

日　時：11月23日(土) 10：00～12：00
場　所：当福祉センター　アリーナ
内　容：式典挨拶　　感謝状贈呈式
　　来賓紹介　　祝電披露
　　ビデオメッセージ
　　滋賀県警察音楽隊演奏

県立障害者福祉センター開設30周年記念地域対抗ボッチャ交流大会の開催

県立障害者福祉センター開設30周年を記念して、誰もが楽しめるパラリンピック競技「ボッチャ」を県内各地域等に広め、地域の活性化と交流を図るため、次のとおり地域対抗ボッチャ交流大会を開催します。

参加対象となる各団体を通じてご参加ください。申し込み等詳細については、当福祉センターまでお問い合わせください。

日　時：11月23日(土) 13：00～17：00
場　所：当福祉センター　アリーナ
対象者：各市町身体障害者更(厚)生会等・県身体障害者福祉協会協力団体(10団体)・青壮年部
募集チーム数：32チーム(各団体2チームまで応募可能)

センター開所式(H2)

「国連障害者の10年」最終年記念
第37回日本身体障害者福祉大会(H4)

第9回青年部交流会(H17)

センター利用者100万人突破記念(H19)

第19回ツリーのつどい(H20)

協会・センター30年の

年	障害者に関する制度等
1990 (平成2)	
1992 (平成4)	アジア・太平洋障害者の10年(1993年～2002年)の採択 障害者の日(12月9日)制定
1993 (平成5)	「障害者基本法」成立　「障害者の日」(12月9日)制定
1994 (平成6)	総理府 初の「障害者白書」刊行　「ハートビル法」成立
1995 (平成7)	阪神・淡路大震災発生 「障害者プラン～ノーマライゼーション7カ年戦略～」策定
1996 (平成8)	
1997 (平成9)	「介護保険法」公布 「淡海障害者プラン」策定
1998 (平成10)	長野パラリンピック競技大会開催
2000 (平成12)	「交通バリアフリー法」成立、「介護保険法」施行
2001 (平成13)	
2002 (平成14)	ESCAP「アジア太平洋障害者の10年」 びわこ会議「びわこミレニアム・フレームワーク」の採択 「障害者基本計画」・「重点施策5カ年計画」策定 「身体障害者補助犬法」施行、「新・淡海障害者プラン」策定
2003 (平成15)	措置制度から支援費制度へ移行
2004 (平成16)	「障害者基本法」一部改正、「障害者週間」(12月3日～9日)制定 「発達障害者支援法」成立
2005 (平成17)	「障害者自立支援法」施行
2006 (平成18)	「障害者権利条約」国連総会で採択、「バリアフリー法」成立
2007 (平成19)	「障害者の権利に関する条約」日本政府署名 「障害者福祉しがプラン」策定
2009 (平成21)	
2010 (平成22)	「障がい者制度改革推進会議」の開催 「障害者自立支援法」改正法成立
2011 (平成23)	東日本大震災発生
2012 (平成24)	「障害者基本法一部改正法」・「障害者虐待防止法」施行 「新・障害者福祉しがプラン」策定
2013 (平成25)	「障害者総合支援法」施行 東京オリンピック・パラリンピック開催決定
2014 (平成26)	障害者権利条約の批准
2015 (平成27)	「難病の患者に対する医療等に関する法律」の施行 「滋賀県障害者プラン」策定
2016 (平成28)	「障害者差別解消法」施行 「成年後見制度の利用の促進に関する法律」の施行
2017 (平成29)	「ユニバーサルデザイン2020行動計画」策定
2018 (平成30)	「滋賀県障害者プラン」改定
2019 (令和元)	「改正バリアフリー法」施行 「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」施行

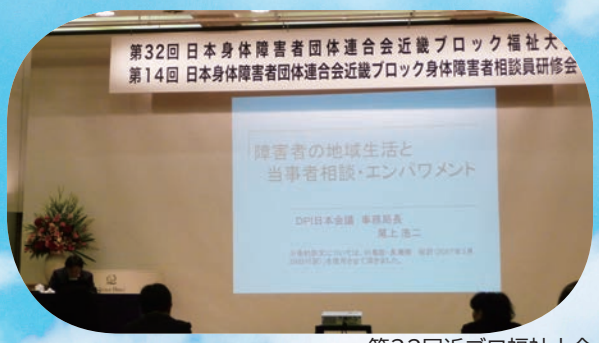
あゆみ

（公財）滋賀県身体障害者福祉協会・滋賀県立障害者福祉センターのあゆみ
（財）滋賀県身体障害者福祉協会設立 県立障害者福祉センター運営業務を受託 滋賀県障害者社会参加促進センター・滋賀県身体障害者相談員連絡協議会発足 滋賀県難病連絡協議会が協会加入
「国連・障害者の10年」最終年記念第37回日本身体障害者福祉大会開催（大津市） 第12回近ブロ福祉大会開催
（社）滋賀県肢体不自由児福祉協会が協会加入
JR駅等バリアフリー整備について要望活動を開始 滋賀県身体障害者福祉協会沿革史作成
（社）日本オストミー協会滋賀県支部が協会加入 滋賀県身体障害者福祉協会青年部発足　第1回青年部交流会開催
第50回記念滋賀県身体障害者福祉大会開催（守山市） 県立障害者福祉センター開設10周年記念・第10回夏まつり開催 「総合リハビリテーションセンター（仮称）の早期整備について」請願
協会設立50周年記念事業の実施 滋賀県身体障害者福祉協会続・沿革史作成
滋賀県脳卒中者友の会「淡海の会」が協会加入 滋賀県障害者等防災マニュアル策定指針の作成 「アジア太平洋障害者の十年後の取組を考える集い」開催（大津市・米原市）
第23回近ブロ福祉大会開催（大津市）
第5回近ブロ身体障害者相談員研修会開催（草津市） 青年部によるJR等公共交通機関のバリアフリー調査
市町村合併により滋賀県身体障害者福祉協会支部構成を変更
県立障害者福祉センター指定管理者の指定（1期目）を受ける
県立障害者福祉センター延べ利用者100万人達成
財団設立20周年記念・県立障害者福祉センター開設20周年 記念式典・夏まつり開催
第60回記念滋賀県身体障害者福祉大会開催（大津市） 「障害者週間」啓発活動の実施開始
県立障害者福祉センター指定管理者の指定（2期目）を受ける
（公財）滋賀県身体障害者福祉協会へ移行 第32回近ブロ福祉大会・第14回近ブロ身体障害者相談員研修会の開催（大津市）
青年部を青壮年部に改名
第25回記念夏まつりを開催
県立障害者福祉センター指定管理者の指定（3期目）を受ける
障害者週間啓発イベントを開催
財団設立・県立障害者福祉センター開設30周年記念式典ほか記念事業の開催

財団設立・センター開設20周年記念式典（H21）

センター開設20周年記念夏まつり（H21）

第60回記念滋賀県身体障害者福祉大会（H22）



第32回近ブロ福祉大会
第14回近ブロ相談員研修会（H24）

障害者週間啓発推進イベント（H30）

財団設立・県立障害者福祉センター開設３０周年おめでとう!!

7月 21 日（日）に当センターで開催しました「開設 30 周年記念第 29 回夏まつり」において、多くの方にご協力いただき、横断幕を作成しました。

また、当協会役員の皆様と当センターで開催した３０周年記念の行事の参加者等に３０周年をお祝いするメッセージをいただきましたので、ご紹介します。

当協会役員　第２期評議員の皆様からのメッセージ

障害者福祉団体の核として、今後も、社会参加の促進と自立に向け、取り組みましょう。
第２期評議員　北村　茂

県身協という大きく逞しい柱があってこそ、私たち地域の活動は成り立っています。県身協のなお一層の発展を祈るとともに、湖北に新たな灯が点くことを願っています。
第２期評議員　三田　俊雄

３０年の実績を生かし多くの人に愛されるセンターとして発展される事をお祈りいたします。
第２期評議員　杉江 利平

県身協だよりを読むと、参加者の声・楽しい・交流ができたの感想。今後とも協会の指導力で。
第２期評議員　井場 道夫

４０年、５０年と障がい者の社会参加と活動拠点として、希望ある未来の施設であって。
第２期評議員　澤村 康夫

障害者の「きずな」「かなめ」としての３０周年。心強くさせてもらって、日々に感謝。
第２期評議員　杉原 芳也

今後も多くの方に愛される協会として発展していくことを期待しています。
第２期評議員　北川　誠

ご発展を遂げられた皆様の情熱に敬意を表し未来へのさらなるご繁栄を祈念いたします。
第２期評議員　前野　奨

障害者が一般社会で素直にカミングアウトできる共生指向の社会は、ここセンターから。
第２期評議員　八木 政廣

障害者になって１０年に、その間、いろいろな障害者の方達と知り合いになり勉強になっています。
第２期評議員　小西 勝彦

３０周年を記念して、さらに飛躍されますようお祈りいたします。
第２期評議員　熊田 寿貴

新たな出発点とし、さらなる障害者福祉の充実に貢献していただくことを祈念します。
第２期評議員　伊吹　学

昭和２６年の連合会創立からは６８年。関係者の皆様の弛まないご努力に深甚の敬意を表します。
第２期評議員 馬塲八州男

次の時代を担う協会青壮年部は、叡智を結集して、地域で活躍できる人材を育てます。
第２期評議員　原　陽一

当協会役員　第２期監事の皆様からのメッセージ

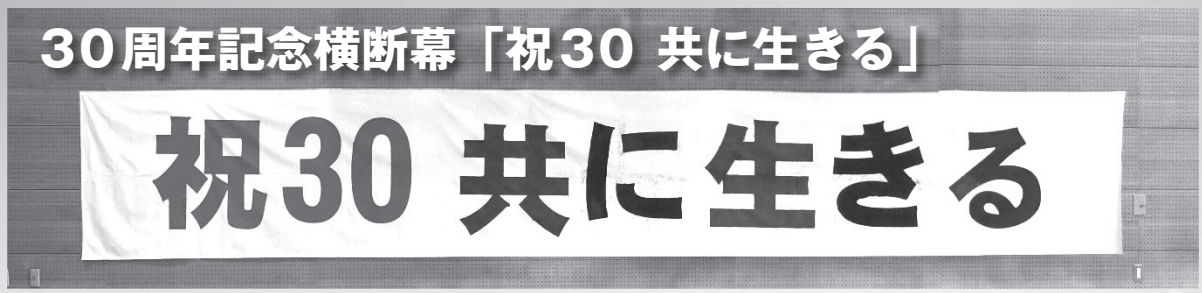
私たちの社会参加の拠点として３０年。これからもより一層の発展を。いつもありがとう！
第２期監事　太田 千恵子

県内障害者の責任を負って、これからも共にがんばっていきましょう！
第２期監事　青木　隆三

当福祉センター開設３０周年記念の行事等に参加された方々から、りんご型のふせんに書いたお祝いのメッセージをいただきました。
いただいたメッセージは、各行事ごとに大きな木に貼っていただき、りんごの木が完成しました！

【お祝いのメッセージをいただいた行事】
- 開設３０周年記念音楽会（コンサート）
- 開設３０周年記念グラウンドゴルフ大会
- 開設３０周年記念夏まつり
- 開設３０周年記念夏休みわくわく体広場
- 第３５回水泳記録会（平成３０年度）
- スポーツ吹矢大会（平成３０年度）

30周年記念横断幕「祝30 共に生きる」



当協会役員　第４期理事の皆様からのメッセージ

３０年、長いようで短かった。これからも、４０年５０年に向かって互いにがんばりましょう。
第４期理事　長谷川 綱雄

心とこころをつなぎ、思いやりの輪を広げて、更なる発展をお祈りいたします。
第４期理事　脇　眞澄

力強いテーマのもと止どまることなく歩み続けた賜物。今日から明日に向かい前進がんばろう。
第４期理事　足立　勲

今後のセンターは、憩いの場でスポーツ・風呂・カラオケ・食事完備で交通の便良しが理想。
第４期理事　乾澤　正和

未来に向かって希望に満ちた障害者差別解消法、条例の理念に則り素晴らしき「共生社会」づくりに努力しましょう。
第４期理事　酒井　なつ

事業への参加で出会い交流が生まれ、健康増進、機能回復、知識向上等も深まり社会参加の一歩となっています。地域生活の充実を願い今後も活動を深めたいものです。
第４期理事　新田　正紘

すばらしい仲間の寄り処として、今日まで共に歩んでまいりました福祉センターの一層の活躍を期待いたします。
第４期理事　竹村　勇

障害者社会参加の拠点とし障害者スポーツ、青壮年部等尽力されることを願っています。
第４期理事　石田　貞雄

栗東市の更生会では、仲間と連携し頑張って行こうと思います。ボッチャも皆でやろう。
第４期理事　川嵜 千頼

いつでも、これからも障がい者の中核として活動・活躍してくれることを願っています。
第４期理事　望月　惇二

各種団体が協力し障害者のハンディ克服に、障害者差別解消に、強力な運営を希望します。
第４期理事　増田　定雄

滋賀県障害福祉の拠点として、地位向上に努力していただきました。今後ともよろしく。
第４期理事　松本　建司

先輩たちが築いてこられた、功績に感謝し、本協会のさらなる発展に頑張っていきます。
第４期理事　大西　孝雄

滋賀県の共生社会は我々障害者団体からつくりあげ、障害者福祉の充実を目指しましょう。
第４期理事　大橋　博

今後も、関係仲間と障害者問題解決を目指し、住みよい社会にしていきたいと願います。
第４期理事　長田 由美子

センターの施設の利用により著しく機能回復ができた者がおり、常々話題に上がります。
第４期理事　駒阪　博康

東京パラリンピック出場を目指す方を応援し、これからも一緒に歩んでいきましょう。
第４期理事　末益　友隆

皆様からいただいたメッセージ

・３０周年おめでとうございます。
・この施設のおかげで、元気に働いて社会復帰された方を知っています。これからも希望と笑顔があふれますように。
・たくさんの方がこれからも利用できますように。　など

完成したりんごの木は、１１月２３日（土）に当福祉センターで開催する「３０周年記念式典」で、皆様にお披露目いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

障害者福祉センターコーナー

第４期スポーツ教室受講生募集！

今年度の最後の教室募集です。みなさんふるってお申込みください！！
※先着順ではありません。申込期間内にお申込みください。

教室名	対象者	教室開始日	開催時間	開催曜日	定員	回数
フライングディスク教室	障害のある人（中学生以上）	1月18日（土）	13:30～14:30	土曜日	20人	6
リズムでダンス教室	知的障害者（中学生以上）	1月18日（土）	15:00～16:00	土曜日	20人	6

申込期間：11月19日（火）～12月8日（日）の正午まで。

※受講料は無料です。ただし、スポーツ安全保険料が必要です。

申込方法： 所定の受講申込書と予備調査表に必要事項を記入の上、受付期間中に来所、FAXまたは郵送にてお申込みください。（1 教室ごとに提出してください。）
なお、受講申込書・予備調査表はホームページにも掲載しています。

教室募集の詳細は、当福祉センターまでお問い合わせください。

フライングディスク教室

全国障害者スポーツ大会の種目でもあるフライングディスク。ディスクの投げ方や、アキュラシーなどの基本を指導します。

教室開催日	
1月	18日・25日
2月	8日・29日
3月	14日・28日
計6回（土曜日）	

参加者の声（前年度）

・毎回楽しみに参加していました。
・フラフラ飛んでいたディスクが真っすぐ飛ぶようになった。

リズムでダンス教室

リズムに合わせて体を動かします。皆でダンスを楽しみましょう。

教室開催日	
1月	18日・25日
2月	8日・29日
3月	14日・28日
計6回（土曜日）	

参加者の声（前年度）

・とても楽しそうにダンスしている様子を見て、参加して良かったと思った。
・程よい距離感で、丁寧に関わってもらえた。

障害者週間啓発イベント　レッツイベント

アリーナ

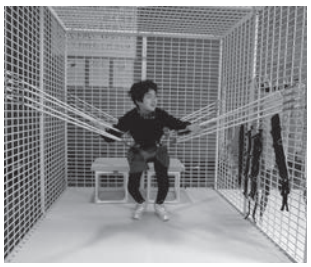
日　時：12月15日（日）10:00～15:00
場　所：当福祉センター
対象者：障害のある人、ない人
内　容：びわこ学園医療福祉センター草津の協力による、車椅子に乗る障害の重いこどもも大人も乗れる移動機器体験ブース　等

前年度参加者の声

・なかなかこのような展示会が無いのでもっとしてほしい。
・想像以上の内容だった。みんなが「障がいを持っていても心地よく生きたい」という思いを持っているのが実感でき、とても有意義でした。

小アリーナ

日　時：12月15日（日）10:00～15:00
場　所：当福祉センター
対象者：障害のある人、ない人
内　容：びわこ学園医療福祉センター草津の協力による、車椅子に乗る障害の重いこどもも大人も体験できるスパイダー　等



前年度参加者の声

・自分で動いている感覚が楽しかったようです。
・子供もとても楽しんでいました。普段使えていない部分が使えていると感じました。

障害者週間啓発イベント（清掃・交流会）

障害者週間の啓発として、当福祉センター周辺を障害のある人もない人も共に清掃を行います。その後、アリーナにて皆が楽しめる交流会を行います。

日　　時：11月28日(木) 13:00～15:30
場　　所：当福祉センターアリーナおよび福祉ゾーン一帯
対 象 者：福祉センターおよび福祉ゾーンの施設利用者および施設職員
内　　容：福祉ゾーン一帯の清掃活動
交流会(レクリエーションスポーツ)
※雨天時は、13:00～14:30でアリーナにて交流会のみ行います。

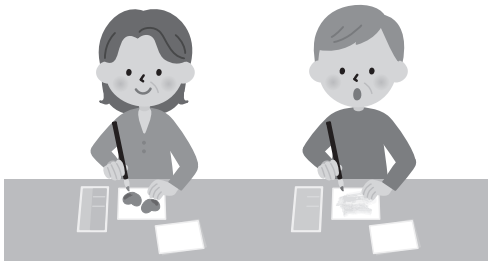
前年度参加者の声

・多くの方と協力し合って清掃できてよかった。
・交流会は楽しくて、あっという間に時間が過ぎた。

筆ペン教室

手作りの楽しい年賀状をつくろう！

日　　時：11月13日・27日、12月11日(水)
10：00～11：30
場　　所：当福祉センター　会議室
対 象 者：障害のある人(高校生以上)
定　　員：先着10人
費　　用：受講料は無料。
ただし、教材費３００円が必要です。
申込期間：10月1日(火)～11月4日(月・祝)



パソコン教室

「ＭＹ(マイ)年賀状」をつくろう！

日　　時：11月30日(土) 13：00～16：00
場　　所：当福祉センター　会議室
対 象 者：障害のある人とその介助者
(小学校3年生以上)
※自分のパソコンを持ってくることができる人
定　　員：10人(先着順)
費　　用：受講料は無料
ただし、教材費200円が必要です。
申込期間：10月18日(金)～11月16日(土)
そ の 他：自分のパソコンをお持ちでない方、持ってくることができない方は、当センターまでご相談ください。

前年度参加者の声

・丁寧にゆっくりと教えていただけて、大変わかりやすかったです。
・優しく指導していただけて良かったです。

ガーデニング教室

春まで楽しめる寄せ植えをみんなで楽しくつくりましょう！

日　　時：12月7日(土) 13：30～15：30
場　　所：当福祉センター　小アリーナ
対 象 者：障害のある人とその介助者
定　　員：18人(先着順)
費　　用：受講料は無料
ただし、教材費2,500円が必要です。
申込期間：11月2日(土)～11月24日(日)

前年度参加者の声

・花が好きで、楽しい時間を過ごせました。
・説明がわかりやすく、細かいところまで教えていただきました。

お正月生け花教室

生け花を飾って、華やかなお正月を迎えませんか？生け花の経験がない方もある方もお申込みをお待ちしています。

日　　時：12月22日(日) 13：30～15：00
場　　所：当福祉センター　会議室
対 象 者：障害のある人とその介助者
定　　員：15人(先着順)
費　　用：受講料は無料
ただし、教材費2,000円が必要です。
申込期間：11月16日(土)～12月8日(日)

前年度参加者の声

・正月用の立派な作品ができ、新年を気持ちよく迎えられます。
・教え方が丁寧でわかりやすく、楽しく受講できました。

事業報告・お知らせ

開設３０周年記念第２９回夏まつり
共に生きる ～ smile! smile! 未来へ！～

本年、滋賀県立障害者福祉センターは開設３０周年を迎え、開設３０周年記念夏まつりとして開催しました。当日は、1400 人あまりの多くの方々にご参加いただき、懐かしい友人との出会い等を通して夏まつりのテーマである「－共に生きる－ smile! smile! 未来へ！」にふさわしく、多くの笑顔が会場内で見られました。

ステージでは、フラダンス・ジャグリング・和太鼓演奏・吹奏楽演奏といった様々なジャンルのパフォーマンスを披露していただき、夏まつりらしく賑やかで楽しいひと時を過ごしていただくことができました。

また、開設 30 周年記念の一環として、参加者の思いを込めた「祝３０ 共に生きる」の横断幕を作成しました。

フィナーレでは、「世界に一つだけの花」を手話を交えて合唱し、老若男女、障害のある、ないに関わらず会場全体が一つになることができました。

～夏まつりの様子～

「マカナニフラスタジオ」
フラ･タヒチアンダンスで幕を開けました。会場はまるで南国のような雰囲気に包まれ、多くの参加者が魅了されました。

「ジャグリング　木下 洸希」
圧巻のジャグリングパフォーマンスを披露していただき、参加者から大きな歓声が上がりました。

「近江和太鼓団「巴」～uzumaki～」
迫力ある和太鼓演奏は、多くの参加者の心と体に響くパフォーマンスとなりました。

夏休みわくわく体験広場（報告）

当福祉センター開設 30 周年記念行事の一つとして、８月 17 日（土）に夏休み中の子どもたちを主な対象とした、障害のある人もない人も楽しめるイベントを当福祉センターで開催しました。

当日は多くの方々の協力や玉川高校水泳部のボランティアにより、車椅子やストレッチャーでも参加できる巨大迷路をはじめ、ボッチャなどの軽スポーツ体験や缶バッチ、消しゴムの手作り体験などを行い、県内各地から多くのご家族や団体の皆様など 314 人の方に楽しんでいただくことができました。

協力団体

瀬田公園体育館（巨大迷路）
県立近代美術館
（名画でびっくりコラージュ）
東北部工業技術センター
（消しゴム作り）
大津商業高校美術部
（缶バッチ作り）
玉川高校水泳部
（各会場案内・コーナー補助）

参加者の声

・施設全体で色々な体験ができて、子どもが喜んでいました。
・高校生の方たちなど、たくさんの人たちが障害のある子たちと関わってくださりよかったです。子どもたちにとってもよい機会となりました。

「玉川ウインドオーケストラ」
知っている曲の演奏が始まると、会場はノリノリ！最後は名曲「ヤングマン」で盛り上がりました。

「縁日」
縁日コーナーでは「スーパーボールすくい」「魚釣り」「輪投げ」を行いました。たくさんの参加者が楽しまれ、多くの笑顔で包まれました。

「バルーンアート」
いろいろな種類のバルーンアートをスタッフが作り、参加者に配付しました。会場内ではカラフルなバルーンを手に持って、嬉しそうに歩かれる姿が見られました。

「横断幕・メッセージコーナー」
当福祉センター開設30周年を記念して「祝３０　共に生きる」の横断幕を参加者の皆さんに思いを込めて作成していただきました。
また、リンゴ型のふせんに当センターへのメッセージを書いていただき、鮮やかな色のメッセージで飾られたリンゴの木が完成しました。

「ミニコンサート」
会議室では「玉川ウインドオーケストラ」による、子ども向け音楽の演奏をしていただきました。知っている曲では参加者から自然と歌声が聞こえてきました。

「大抽選会」
参加者のお楽しみである大抽選会。自分の番号が呼ばれないかと、ドキドキした表情で抽選結果を待っておられました。

「フィナーレ」
「世界に一つだけの花」を玉川ウインドオーケストラの演奏と手話サークル「つばさ」の指導により、手話を交えて参加者全員で合唱しました。

組子細工体験教室を開催しました

9月7日(土)に当福祉センター会議室にて、組子細工入りの行灯（あんどん）をつくる体験教室を開催しました。

受講者は、木の温もりと香りを感じながら伝統技術である建具の組子細工を楽しみ、自分の好みの和紙を選んで「私オリジナル」な行灯をつくりあげました。

教室の最後には、部屋の電気を落とした中で完成した行灯を全員で点灯し、それぞれの作品を鑑賞し合い、受講者同士の交流を深めました。

参加者の声
- 物をつくってできた感動は大きい。
- あこがれの組子細工ができたのでうれしかった。
- わかりやすく、誰でもできるように進めてくださり、大変満足でした。

料金変更について

2019年10月1日（火）から、滋賀県立障害者福祉センターの設置および管理に関する条例の一部改正に伴い、使用料金が変わります。

変更後の料金につきましては、受付に設置している「利用のてびき」をご覧いただくか、当センターまでお問い合わせください。

ご理解とご了承をお願いいたします。

2019年度 障害者福祉センター運営協議会

8月30日(金)に2019年度滋賀県立障害者福祉センター運営協議会を開催しました。前年度の事業と今年度の事業計画を報告し、また委員の皆様からは、老朽化に向けての対策や施設整備に向けた考え方等についての質問が出されました。いただいたご意見等を踏まえ、今後もサービスの質の向上と業務の効率的な運営に取り組んでまいります。

クイズコーナー

ご応募頂いた個人情報については、個人情報保護関係法令を遵守し、クイズコーナーの事務にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

次の①～⑤のヒントを参考にして□の中の故事・ことわざをうめてください。最後に(A)～(E)の文字を順番に並べたものが答えとなります。

□□ ヒント □□

①善人でも悪人でも、来るものはすべて受け入れる度量の大きさを表すたとえ。
②けんかや争いをした者を、理非を問わず双方とも処罰すること。
③一見、よく似ているように思われるが、その本質は異なるもの。
④口先で議論を重ねるよりも、証拠を出したほうが物事は明確になるということ。
⑤普段から準備をしておけば、いざというとき何も心配がないということ。

①	せ	い		(A)	あ	わ				
②		ん	か	(B)			せ	い		い
③	に		(C)	な		も	の			
④	(D)	ん			し		う	こ		
⑤	そ		え		れ	ば			(E)	な

《応募方法》

ハガキに住所、氏名、電話番号、クイズの答え、広報誌に対するご感想等をご記入の上、下記までご応募ください。正解者の中から、3人の方に記念品をお送りします。また、広報誌に氏名が掲載されますので、ご了承ください。なお、応募の締め切りは、11月末日までの消印のあるものを有効とさせていただきます。

〒525-0072　草津市笠山八丁目５番 130 号
（公財）滋賀県身体障害者福祉協会　県身協クイズの係　まで

＊前回のクイズの当選者（応募総数：25通）
・三橋　聡子（長浜市）
・福永　雄二（栗東市）
・西村　敏恵（日野町）

＊前回のクイズの答え → 令和元年(れいわがんねん)
①暖簾に腕押し(のれんにうでおし)
②口は災いの元(くちはわざわいのもと)
③弱り目に祟り目(よわりめにたたりめ)
④画竜点睛(がりょうてんせい)
⑤乗り掛かった船(のりかかったふね)
⑥嘘も方便(うそもほうべん)

読者からの投稿コーナー

読者の皆様からの写真や俳句、川柳などを募集しています。投稿いただいた作品の中から、次号以降の「滋賀県身協」に掲載させていただきます。氏名、作品名を添えてお送りください。皆様の投稿をお待ちしています。

※応募作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

応募先：〒525-0072 草津市笠山八丁目5番130号
（公財）滋賀県身体障害者福祉協会　県身協投稿の係　まで

読者からの声！

●クイズコーナーを毎回楽しみにしています。(長浜市・女性)
●催し物情報がたくさん載っている、楽しい紙面ですね。(守山市・女性)
●事業計画などが掲載されたり、いろんな情報がわかり勉強になります。
(東近江市・女性)
●毎号、県身協を読ませていただいております。(草津市・男性)
●こういった広報誌を通じて、身障者への理解を広めていくことは重要だと思います。(草津市・男性)

原稿募集

次号(第127号、1月1日発行)に伴う**原稿締切日は11月17日(日)**とさせていただきますので、よろしくお願いします。

ワンコインエコパス終了のお知らせ

２０１９年３月３１日をもって、「ワンコインエコパス」の利用が終了しました。詳しくは、滋賀県交通戦略課(TEL：077-528-3681)にお問い合わせください。

編集後記

連日、全国各地で猛暑日が続き、熱中症や作物等への影響が心配された夏となりましたが、皆さまは体調を崩されることなく、お過ごしでしたでしょうか？

さて、「滋賀県身協 第１２６号」ができあがりましたのでお届けします。

本年度は、当福祉協会の財団設立３０周年ならびに県立障害者福祉センターの開設３０周年を迎える記念の年となります。１１月２３日（土）には、開設３０周年を記念した式典や地域対抗ボッチャ交流大会の開催を予定しております。また、その他にも「第６９回滋賀県身体障害者福祉大会」や「障害者週間啓発・推進事業」、「障害者週間啓発イベント」等の行事を開催します。鋭意取り組んでまいりますので、皆様方のお力添えをいただきますようお願いいたします。

次号の広報誌（第１２７号）は、来年１月１日（水）に新年号として発行します。これから朝夕冷えてまいりますので、お体にはお気をつけください。

編集発行　公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会　会長　中村　裕次　　滋賀県立障害者福祉センター　所長　竹内　恵子
〒525-0072　草津市笠山八丁目５番130号　　電話:077-565-4832　　FAX:077-564-7641
E-mail:info@kenshinkyo-shiga.com　　http://www.kenshinkyo-shiga.com

印刷:社会福祉法人 いしづみ会　指定障害者サービス事業所 いしづみ